

## 防 除 情 報

長崎県病害虫防除所

平成 20 年度病害虫発生予察 防除情報第 3 号

## トマト・ミニトマト 黄化葉巻病

促成栽培トマトで黄化葉巻病の発生が多い状況にあります。また、ウイルス媒介虫の発生も増加しており、次作における本病の多発が懸念されます。下記の点に留意して防除指導をお願いします。

## 記

## 1. 発生状況

- (1) トマトにおける 3 月下旬以降の巡回調査 (12 筆) において、黄化葉巻病の発病株率は 1.5 ~ 1.7%、発生圃場率は 25 ~ 50% と、過去 3 年に比べて高く推移している (図 1, 2)。また、コナジラミ類 (タバココナジラミ) の発生も 3 月下旬以降増加傾向にあり、4 月下旬の寄生株率は 6.0% (平年 3.0%)、発生圃場率 58.3% (平年 22.2%) と多い発生である (図 3, 4)。
- (2) 気象予報によると、向こう 1 ヶ月の気温は平年より高い見込みであり、媒介虫の増殖に好適である。

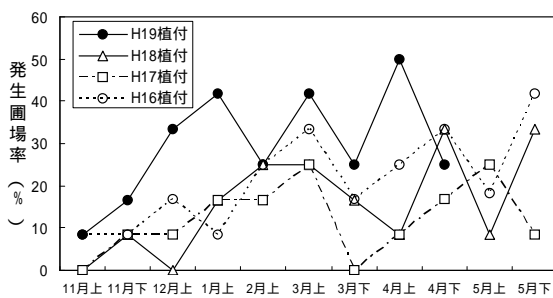


図1 トマト 黄化葉巻病 発生圃場率の推移

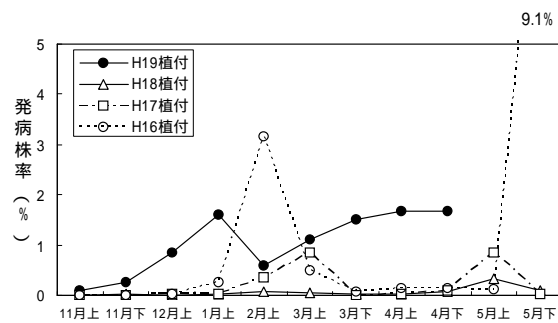


図2 トマト 黄化葉巻病 発病株率の推移

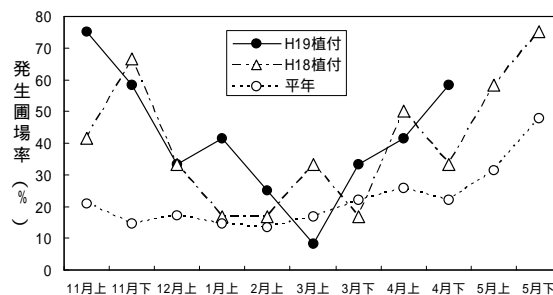


図3 トマト コナジラミ類 発生圃場率の推移

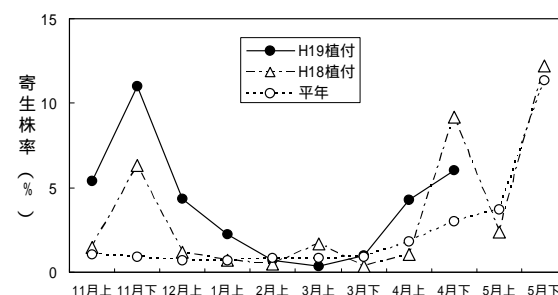


図4 トマト コナジラミ類 寄生株率の推移

## 2. 防除対策

- (1) 発病株の早期発見に努め、見つけ次第抜き取って適正に処分する。
- (2) ハウス内のタバココナジラミの防除を徹底し、密度を極力低下させる。
- (3) ウイルスを保毒したタバココナジラミが野外に分散しないよう、栽培終了時には蒸し込み処理を徹底してハウス内のコナジラミを死滅させる。
- (4) ハウス内外の雑草は、病原ウイルスおよび媒介虫の発生源になるので除去する。
- (5) タバココナジラミは強い薬剤抵抗性を持ち薬剤防除の効果が上がりにくいので、薬剤防除にあたっては表 1 を参考に選定する。また、昆虫病原性糸状菌製剤や気門封鎖剤 (注 1)

の使用も検討する。

注1) 昆虫病原性糸状菌製剤にはマイコタールやプリファード水和剤などが、気門封鎖剤にはオレート液剤や粘着くん液剤などがあるが、それぞれ登録内容や使用上の注意事項が異なるので、確認の上使用する。

表1 室内での薬剤検定で効果のある薬剤の「平成20年度病害虫防除基準」への記載状況

薬 剤 名	薬剤の効果		トマト	ミニトマト
	幼虫	成虫		
ベストガード水溶剤				
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤				
バリアード顆粒水和剤				(アブラムシ類)
サンマイトフロアブル				
アフーム乳剤			(タバコガ類、ハモグリハエ類、トマトビダニ)	(タバコガ類、ハモグリハエ類、トマトビダニ)
ハチハチ乳剤		×		
コロマイト乳剤		×		
アブロードエースフロアブル		×		-
モレスタン水和剤		×	(オシツコナジラミ、トマトビダニ)	-

: 長崎県総合農林試験場の薬剤感受性検定結果(2006年)による

: 「タバココナジラミ類」が対象害虫として記載有り

: 「タバココナジラミ類」が対象害虫として記載無し(( )内は防除基準記載の対象害虫名)

- : 平成20年4月23日現在、作物登録なし

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス: <http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL: 0957-26-0027